

三和分校

PTAだより

福知山高校

三和分校PTA

平成21年

7月17日

御挨拶

PTA会長 西田 哲夫

暑中お見舞い申しあげます。

PTA会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、平成二十一年度のPTA会長を仰せつかりました西田です。

大役でどれだけの事が出来るかわかりませんが皆様のご理解、ご協力を頂きながら精一杯頑張っていきたいと思っております。

世の中は昔と違って恐ろしく進歩しています。昔なら百年かかっていたことが今では十年で進んでいるように感じます。

暮らしはほとんど便利になり、物は豊かで世の中に氾濫しています。でも、本当に世の中は便利になって暮らしやすくなったかは疑問に思えるようになってきました。

今日、テレビでは昔では考えもつかなかったことが、当たり前のように報



道されています。人殺し（誰でもよかった）、放火、子どもの虐待等、目をお

おいたくなるようなことがおきています。日本だけでなく世界中でこのよ

うな事件はおきています。自然災害も世界中で後を絶ちません。豊かで便利な

時代になってきましたが生活していく中ではいろいろな大変な時代になって

いるように思われます。子どもたちをそんな「世の中」の荒波の中に送り出す

前に三和分校の生活があります。楽しい学校生活を送れるように、保

護者と先生と生徒が団結、協力して、PTA活動と行事を進めていきたいと思

います。今年度は農業科の生徒がずいぶん頑張

張って、「ゴーヤの苗」で新聞、テレビ、ラジオに報道され大変うれしく心強く

感じました。また、今年度も全国大会へ陸上部二名、ソフトテニス部二名の参加も決まりました。頑張ってきてほしいと思

を見て子どもは大きくなると言われま

「あいつ」

校長 坂根 文伸

PTA会員の皆様には、日頃より三和分校の教育に御理解・御協力をいただきありがとうございます。

私は、今春の人事異動で加藤校長の後任として京都府立網野高等学校より赴任いたしました坂根と申します。微

力ではありますが、誠心誠意励む所存でございますので、前校長同様、何卒よろしくお願い申し上げます。

三和分校では今春三十一名の新入生を迎え新学期が始まりました。生徒数は全学年総計八十六名という小規模校

ですが、その小規模ならではの教育の推進を図りたいと考えています。家庭

的な雰囲気のある学校の良さを生かして一人一人の生徒を大切にしたい特色ある教育をすすめて参りたいと思

います。その一つの例として、毎朝生徒の登校時に教職員がバス停と校門で生徒を迎え、声かけをして、挨拶の励行

を指導するとともに、生徒一人一人のその日の状態を把握しています。

三和分校は、先ず第一に授業をきちりと受けることを大前提に、将来社会でしっかりと生き抜くために、基礎

学力、社会規範を

きちんと守る態度、挨拶や礼儀等の人間としての基本マ

ナーを確実に身に付けることをめざ

しています。その

目標を果たすべく、教職員が一丸とな

り、生徒一人一人の状況に合わせて、必要な力を身に付けることができるよ

う、学校独自の「基礎数学」「基礎漢字」「ベーシック講座」等を実施したり、

外部講師を招くなどして、様々な角度から教育の充実を図る取組を進めてい

ます。

私は、子どもたちの成長には、学校と家庭が同じ方向を向いて、同じ歩調

で進んでいくことが重要であり、そのためには、学校と保護者の方々との密

接な連携が大切であると考えています。保護者の皆様におかれましては、三和分校に関する御意見や御要望などがござ

いましたら、どのようなことでもお気軽に学校までお寄せください。今後とも、三和分校の教育につきま

して、一層の御理解・御支援をお願い申し上げます。

生徒諸君にとっては、いよいよ長い夏休みに入りますが、事故・病気・ケガのない有意義な夏休みとなりますように、なお一層の学校と御家庭との連携をよろしく願



生徒指導部より

生徒指導部長 谷口藤雄

〔三和分校生徒指導の目標〕

一 自分の命を大切にする。他人の命を大切にする。

二 暴力や暴言はどんな理由があっても許されない。

三 自分で考え、自覚して行動できる生徒になる。

四 何事も人のせいにはしない。時々保護者の方から、「三和分校はどんな教育をしているんや」という質問を受けることがあります。何か生徒が問題を起したときによく質問されません。三和分校では、先上げた四つの目標を基本に生徒指導に取り組んでいます。

三和分校にはいろいろな困難や課題を持った生徒が入学しています。学力がない、不登校で学習していない、病気や障害によりじゅうぶん学習ができていない、経済的に困難な生徒などが入学しています。そうした中で「何とか勉強したい」という願いが実現されることを第一に日々指導しています。

しかし、目標の実現は一朝一夕に出ません。不十分にしか出来ない生徒も居ます。また、学校の力だけでも目標の実現は出来ません。家庭や地域、学校の協力があつて初めて実現できると思います。

不十分な生徒であつてもくり返し指導することで成果が上がると考えています。

ます。

しかし、学ばない生徒、学習規律が守れない生徒、暴力や暴言を繰り返す生徒は方向転換も含めて指導しています。

高校は、義務教育ではありません。中学校といろいろな面で制度や仕組みが異なります。

第一に、懲戒（ちようかい）制度があります。校則に違反すれば家庭謹慎などの指導を受けます。第二に、一定の単位が取れないと進級や卒業は出来ません。欠席時間数が規定をオーバーするとこれも単位が認められず進級は不可です。こうした違いをよく御理解いただきたいと思ひます。

高校の基本は学ぶ所です。また、高校は社会人として必要な知識や礼儀、マナーなどを身に付けるところです。

三和分校は勉強が出来るかどうかは問題にしません。「学ばない、意欲のない生徒」は困ります。学習活動に必要な教科書やノート、筆記用具さえ持つて来ない生徒、他の生徒の学習の妨害になる生徒には「学習する気になつたら来なさい」と指導しています。

三和分校は「ゆつくり、確実に学ぶ君を応援します」をモットーに、生徒諸君の学習活動を応援しています。今後とも、御協力よろしくお願ひします。



教務部より

教務部長 安枝典子

卒業生が三和分校を訪ねて来てくれます。先日も来てくれました。大変嬉しいことです。

ある生徒は、欠席も多く、すぐに捨てざりふで「学校をやめる」を連呼し、学校の規則も決してきちんと守れている生徒ではありませんでした。私も何度も話をしたりして、その生徒と関わりを持つていました。何とか卒業することができましたが、三和分校に二度と顔なんか出したいくないのだろうと思つていました。しかし、訪ねてきてくれました。その生徒と高校時代を思い出し、懐かしく話をしました。社会人となつて色々と思うこともあつたようですが、『先生達に色々注意され反抗したが、高校を卒業して本当によかつた。』と言つてくれました。

私たち教職員は三和分校の生徒のみならず、社会人として必要な学力がしっかりと身につけられるよう、できる限りの支援をしていきたいと思つています。そして、『三和分校に来てよかつた。卒業できてよかつた』と思つてくれることを願つています。

この学校には、色々な生徒が入学してきています。不登校・大勢の中が苦手・ゆつくり勉強したい・勉強が苦手等々。一人ひとりの生徒たちが自分の希望や将来の進路の実現に向けこの学校を希望し、遠方からも通学してきて

います。自分自身の課題をしっかりと見つめコツコツと努力し、日々充実した学校生活を送っている生徒、中学校時代の不登校が嘘のように、一日も休まず学校生活を送れている生徒もいます。

しかし今、学校で学ぶということから目を背け、学習することをおろそかにしている生徒が目立つことを残念に思つています。先日行われた追認テストも、例年になく大勢の生徒が対象となりませんでした。結果、合格者も大変に少なく、とても残念でした。

色々な機会でも話をさせてもらつていますが、高校は中学校とは違います。単位の履修と習得によつて単位が認められ、進級や卒業ができます。つまり決められた時間数を出席すること、テストや提出物で合格をすることが必要です。授業に集中できていない状態にあるということは、自らこの履修を放棄していることとなります。授業を大切にしてしっかりと学力をつけてほしいと願つています。自分自身の意志と責任において入学してきた学校です。何事にも責任と自覚を持つて行動してほしいと思ひます。

高校生活の4年間において、自らの課題を克服して目標の進路を実現することはなかなか容易なことではありません。生徒たちがしっかりと力をつけるには、家庭と学校・地域が一体となることが大切だと思います。今後更なる御協力をよろしくお願ひします。

進路指導部より

進路指導部長 宇野佳代

「卒業したらどうするの？」

生徒達と何気ない会話をしている中で、こちらから卒業後の進路についての話題を持ちかけると、「したいことなんか、何もない」、「考えたくない」、「高校も入学できたし、まあ何とかなるやろ」などと答えてくれます。

下級生と話をしている時は、お互いに気持ちのゆとりがあり、「これから考えていこう」、「そうやな」などと言いつつ、和やかなムードで次の話題に移っていきます。しかし、上級生（特に四年生）と話をする時には、なかなかそうはいきません。「そんな悠長なことを言っている時期ではない」、「就職はきびしい」、「そんな甘い考え方は社会で通用しない」などと、つい語気は強まり、表情も険しくなってしまう。卒業後の進路を考えることは、自身身のこれからの「生き方」を考えることと同義であり、生徒にとって大切な事柄ですが、自分の将来に対して具体的なイメージを描きにくいと感じているようです。

確かに社会の変化のスピードは、以前とは比べ物にならないほど速くなり、新しい業種・職種が現れ、雇用形態は多様化しています。様々なメディアから多くの情報を得られ、選択の幅が広がる一方で、「自分を知る」という基本的かつ重要なプロセスを経ないまま

だと、何をどのよ
うな基準で選べば
よいのかという判
断が難しく、情報
の海の中で溺れる
ような状態になっ
てしまいます。

四年生になって
から慌てて自分自
身を見つめるのではなく、生徒の皆さ
んには「自分を知ること」を意識しな
がら学校生活を送ってほしいと思いま
す。自分はどうな時に満足感が得られ
どんな事を残念に思うのか。また、人
から褒められた経験や、学校や家庭で
注意される事柄などをじっくりと振り
返ってみることも自分を知るうえで役
に立ちます。生徒たちにとって一番身
近な人生の先輩である保護者の皆様か
らの温かいご助言も有用です。

自分の生き方を考える“はじめの第一歩”は「自分を知る」ことです。○
年後に三和分校を卒業し、社会の中で
たくましく生きるために、「自分につい
て」考えはじめませんか。

新転任の先生方より

「三和分校生を応援します」

副校長 蘆田 美代子

PTA会員の皆様には御健勝のこと
とお喜び申し上げます。日頃は何かと
三和分校の教育活動に御理解・御協力
いただきありがとうございます。この



春の人事異動により、茂籠副校長の後
任として京都府立綾部高等学校東分校
より赴任しました。どうぞよろしくお
願いいたします。

豊かな自然環境の中、「ゆつくり確
実に学ぶ君を応援します」をスローガ
ンに少人数ならではの丁寧な教育を目
指して日々の取組を進めています。四
年間の学校生活で、学習や様々な体験
をとおして豊かな人間性と確かな学
力、そして社会性を身に付けて巣立っ
てほしいと願っています。心地よい体
験をたくさんしてほしいと思います。
しかしながら、「学ぶ」ということ「成
長する」ということは時として苦しか
つたり忍耐を要求されることもありま
す。家庭と学校が同じ歩調で生徒と向
き合い、ともにその成長を願うことが
大切なことと考えます。どうか有効な
連携のため御協力をお願いいたしま
す。

「プライドをもって」

家庭科 小澤啓子

今春、綾部高校東分校から転任して
きました。よろしく願います。西
舞鶴・綾部高校の家政科に勤務してい
たことがあり、家政科四十名の担任を
したり、学校展のファッションショー
に取り組んだことなど当時のことを思
い出しながら、また、新たな気持ちで、
頑張ろうと老体にムチをうっておりま
す。三和分校では、家政科の検定もあ
り、京都府の家政科の最先端の教育を

しています。

ここで学ぶ皆さんに、是非、普通科
で得ることができない専門学科として
のプライドを持って欲しいと願ってい
ます。農業科の人も同じです。農業や
園芸の専門的な知識や技術を明日の農
業に生かしていける素地を4年間で養
って欲しいと思います。地道に努力す
ることが、将来の道を開いていくこと
につながると思います。校内では、二
年生の副担任、保健部と人権部、生徒
部・PTA係を担当しております。心
身共に、健康で学校生活が過ごせるよ
うにともに頑張りましょう。また、楽
器演奏が好きで、
ピアノを弾いたり、
マンドリンを奏で
ることが結構「癒
し」になっていま
す。あなたも一緒
にどうですか？

「はじめまして」

養護教諭 牧野 由佳

四月から、三和分校の養護教諭とし
てお世話になっております。これまで
大阪の大学で勉強しており、この春、
地元福知山に帰ってまいりました。以
前と変わらず温かく支えてくださる地
域の人たちや、自然の豊かさにほっと
させていただいております。そんな土
地で育っている三和分校の生徒たちは、
感情も豊かで、とても素直な優しい子
たちだと感じました。明るい挨拶や、



困っているときにそつと手を差し伸べてくれる優しさに、いつも元気をもらい、助けられています。だからこそ、学校だけでなく、家庭でも心身ともに健康な生活を送ってもらいたいです。私はそのお手伝いを精一杯させていただきますので、生活習慣に気をつけて、ともに健康な毎日を過ごしましょう。

また、生徒からも日々多くの事を教えてもらっています。毎日が新しい事の発見で、充実した学校生活を送っています。問題にぶつかりながらも、一生懸命解決しようと努力している生徒たちを見ていると、一緒に成長していきたいという気持ちがいってきます。頑張っていますので、これからもどうぞよろしくお願いします。

祝 全国大会出場

陸上競技部

ソフトテニス部

*陸上競技部

八月一四日、一六日に国立競技場（東京）で行われる第四十四回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会に



二名の選手が出場権を獲得しました。出場種目は次の通りです。

- (四年・亀岡中) 千五百メートル
- (四年・亀岡中) 千五百メートル

*ソフトテニス部

八月八日、十日に有明テニスの森公園テニスコート（東京）で行われる第四十二回全国高等学校定時制通信制ソフトテニス大会に京都府代表として1ペア二名の選手が出場権を獲得しました。

- (四年・綾部中)
- (四年・瑞穂中)

全国大会参加にむけて

◇今年で4回目の全国大会出場です。高校生活最後の全国大会なので大きな目標を持ってがんばりたいと思います。目標は5000円で十七分を切ることに何とか表彰台上に上りたいと思います。4年生になって課題研究などたいへん忙しいので、十分な練習時間が取れないのが悩みです。

夏休みに入ると京都代表の人たちとの強化練習会があるので最後まで気を抜くことなく、がんばりたいと思います。皆さん応援よろしくお願ひします。

◇全国大会に1500円で出場します。高校生活最後の大会なので過去の2回よりも一番いい走りを目指します。全

国大会は独特の雰囲気があります。その雰囲気飲み込まないよう、自分の走りをしたい。お盆の暑い時期の大会ですが、隊長にじゆうぶん気をつけて練習し、国立競技場での本番に臨みたいですね。がんばりますので皆さんの応援をよろしくお願ひします。

◇今年で全国大会に出れるの最後のなで悔いが残らないように頑張ってください。

◇今年で全国大会が最後なのでペアと力を合わせて頑張りたいと思います。一球入魂

PTA会員のひとこと

「生徒さんへ」

一会員

今年も私の勤めている会社には新入社員が沢山人社してきました。大卒の人が数名、高卒の人が数名。でも、従業員の目から見ると、大卒とか高卒とかどの学校を卒業しているとかは毎年あまり関係ない様に見える。せつかくようです。ただ、その新入社員の人間性、仕事に対するまじめさ、当たり前のことが普通にできるかどうかを見ていようです。高校生の間にいろいろな体験できることは、面倒でも取り組ん

で自分の力にしてもらいたいと思います。後、取れる資格はどんどん取って、自分磨きをしてもらいたいと思います。一、二、三年生も同じです。せつかく大切な時間、有意義に過ごしてください。

PTA行事に

ご参加下さい

・学年懇談会

七月二十一日

午後七時半から

・環境整備作業

八月二十三日

午前九時から

生徒とともに環境整備作業に取り組みます。